

ITコーディネータ(ITC)育成ガイドライン

- フォローアップ研修を中心として -

特定非営利活動法人 ITコーディネータ協会

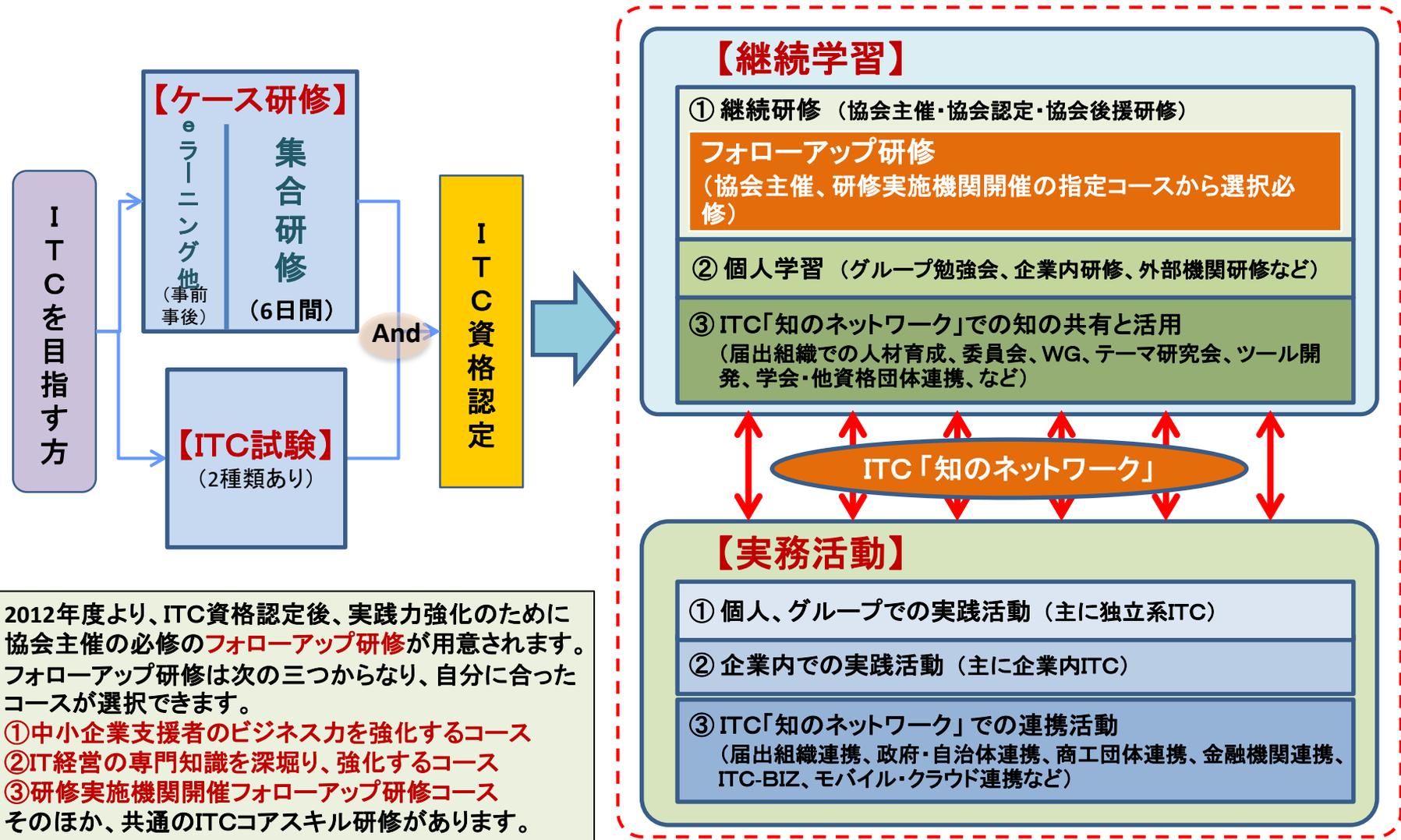
IT経営研究所

2015年04月01日

ITコーディネータはIT経営を実現するプロフェッショナルです

ITコーディネータ資格認定・育成制度

ITC資格認定後は、「実務活動」と「継続学習」を通じ、実践力を高めていく育成制度となっています。



2012年度より、ITC資格認定後、実践力強化のために協会主催の必修の**フォローアップ研修**が用意されます。フォローアップ研修は次の三つからなり、自分に合ったコースが選択できます。

- ① 中小企業支援者のビジネス力を強化するコース
- ② IT経営の専門知識を深掘り、強化するコース
- ③ 研修実施機関開催フォローアップ研修コース

そのほか、共通のITCコアスキル研修があります。

協会主催研修カリキュラム全体像

- ・協会主催研修は、「3年で自立するITCを育成する」目標に沿って、協会ならではのカリキュラムとなっており、他では学べないIT経営の考え方を踏まえた研修が特徴です。
- ・ITC資格取得後、3年度間(取得年度を含めた最長3年間)で、「フォローアップ研修」を3講座以上受講(選択必修)することで、ケース研修では学べなかったより実践的なスキルを身につけることができます。
- ・その他のコースはいずれも選択制ですが、ITCや届出組織の開発した研修も含め各地で多くの研修を行う予定です。ご期待ください。

フォローアップ研修

a. ITCコアスキル研修コース(全ITC向け)

- ・変革への気づきの醸成と、ITC実務のノウハウを学ぶ。

b. 中小企業ビジネス支援研修コース(特に、独立系ITC、中小企業支援、起業を目指す方向向け)

- ・IT経営を実践する企業の支援事例を学ぶことで、中小企業ビジネスの支援者としての実践力を強化する。

c. IT経営プロセス実務研修コース(特に、企業内ITC向け)

- ・IT経営プロセスでの実務を深掘り、強化し、企業内ITCの実務能力に付加価値をつける。

研修実施機関開催研修コース

イノベーション研修

- ・ITC向け、企業経営者向け研修

ITC実践ゼミ／実地研修

- ・より実践に近い形のゼミ形式の演習／中小企業の現場に出かけ、経営者と面談し課題を聞き提案を行う中で、実践力を身につける。

ITCコンテンツの活用

- ・ITC専用ツールやITCリファレンスの活用法を学ぶことで、効率的、効果的なITCのビジネススタイルを身につける。

ビジネス実務講座

- ・自治体、農業、医療、製造、財務分析、BCP、販売管理など、業種・業務分野での専門性を高める。

最新IT活用講座

- ・SaaS・クラウド、セキュリティ、モバイル、ソーシャルネットワークなどの経営・業務への活用法を身につける。

協会重点セミナー／トレンドセミナー／テーマ研究セミナー／ITCカンファレンス

- ・協会施策など／最新動向を探る／テーマ研究会の成果発表会／ITCやコミュニティの活動事例などの発表大会

フォローアップ研修の概要と受講方法

- ・b.c.実施機関開催コースの中から、自分の目標に合ったコースを選択します。全てのコースを受講することも可能です。
- ・a.コアスキル研修コースは、b.c.実施機関開催コース受講の前に、受講していただきます。
- ・資格取得年度の翌々年度末までの間(最長3年間)に、3講座以上の受講が必須です。
- ・フォローアップ研修は、資格更新制度におけるポイント制度の対象です。(2時間1ポイント換算となります)
- ・受講料は有償で、ITCA会員・非会員による受講料の違いはありません。一般の方々の受講料は別途。
- ・研修会場、日程など、協会ホームページ「協会主催セミナー」をご覧ください、受講申し込みしてください。

フォローアップ研修の構成

a. ITCコアスキル研修コース
・・・ 2講座、各5,400円
(全ITC向け)

・変革への気づきの醸成(すべてのITCに共通)と、ITC実務のノウハウ(特に中小企業支援)を学ぶコース

このコースは、eラーニング講座です

b. 中小企業ビジネス支援研修コース ... 5講座、各32,400円
(特に、独立系ITC、中小企業支援、起業を目指す方)

・IT経営を実践する企業の支援事例を学ぶことで、中小企業ビジネスの支援者としての実践力を強化するコース
このコースは、集合研修です

c. IT経営プロセス実務研修コース ... 6講座、各32,400円
(特に、企業内ITCの方)

・IT経営プロセスでの実務を深掘り、強化し、企業内ITCの実務能力に付加価値をつけるコース
このコースは、集合研修です

研修実施機関開催研修コース ... 各32,400円

このコースは、集合研修です

推奨選択例

中小企業支援を目指す方 ... eラーニングのa1.「ITC実務への取り組み」受講後、集合研修のb1. からb5. までの5講座、またはケース研修実施機関主催研修コースから、自分が取り組みたい課題や業種を選び、2講座受講する。

企業内ITCの方 ... eラーニングのa2.「変革への気づき」受講後、集合研修のc1. からc6. までの6講座、またはケース研修実施機関主催研修コースから、自分の実務に近い、または今後取り組みたい業務に役立つ講座を選び、2講座受講する。

a. ITCコアスキル研修コース (全ITC向け)		変革への気づきの醸成と、ITC実務のノウハウを学ぶコース		
狙い	講座名	概要	時間	eL
<p>・ITCが実際に実務を行うには、お作法がある。そのITCとしてのノウハウを学ぶ。</p> <p>・企業を取り巻く環境変化の予兆を捉え、企業の変革を促すには、経営者およびITC自身の気づきが重要である。その気づきとは何かを学ぶ。</p>	<p>a1. ITC実務への取り組み～「ITコーディネータ実務ガイド」をベースに、実務活動を学ぶ～</p>	<p>「ITC実務ガイド」をベースに、営業方法を含め、PGLで学んだことをビジネスでどう適用するかについて学ぶとともに、ビジネス競争力自己診断ツールを始めとするITCコンテンツの活用概要も学ぶ。</p> <p>(中小企業支援者向け)</p>	4時間	○
	<p>a2. 変革への気づき(理論と実践のギャップ)</p>	<p>変革には「気づき」のステップが不可欠である。PGL変革認識プロセス3Aの原則(①Awareness、②Attention、③Action)の本質と、さまざまな困難に打ち勝つ実践ポイントを学ぶ。受講者のミニ演習もある。</p> <p>(全ITC向け)</p>	4時間	○

eLの○は、eラーニング対象講座を示す

フォローアップ研修カリキュラム(2/3)

b. 中小企業ビジネス支援研修コース (特に、独立系ITC、中小企業支援、起業を目指す方向け)		IT経営を実践する企業の支援事例を学ぶことで、中小企業支援者のビジネス力を強化するコース		
狙い	講座名	概要	時間	eL
<p>・中小企業ビジネス支援活動における実務プロセスや実践スキルのつぼは何かを理解する。</p> <p>・「IT経営力大賞」受賞企業等の具体的事例を基にして演習を行い、中小企業経営の現場を理解する。</p> <p>・経営者との信頼関係を築き、経営課題を引き出し、ステイクホルダーの意見をまとめ、説得力のあるプレゼンを行うためのコミュニケーション力を身につける。</p> <p>・業種別の複数講座から選択し、各業種や業態の違いや、企業ごとの課題の違いによる対応の違いを学び、企業の成熟度に合わせた支援力を身につける。</p>	<p>b1. 少量多品種短納期の要請にIT経営で解決！ ～全体最適化による対応法～ (業務改革事例)</p>	<p>中堅食品製造業のトレサビリティを求められる基幹系システムに関してIT調達～導入に関する成功事例を学びます。また全体最適がもたらすシステム導入によるメリット等、生産性向上と競争優位のIT活用を学びます。2011中小企業IT経営力大賞(ITC協会会長賞)事例 (製造業事例)</p>	1日 (6時間)	—
	<p>b2. 従業員一体による基幹システム再構築で、経営体質を変革 (従業員一体化事例)</p>	<p>講師がITC開業と同時に、IT経営実現プロセス全体の支援を実践し、その後も継続している支援事例を臨場感強くお伝えします。(卸売業事例)</p>	1日 (6時間)	—
	<p>b3. 街の自転車屋が感性とITを両論に急成長した理由 (営業支援事例)</p>	<p>大企業の真似ではなく、ニッチ分野の差別化戦略で急成長した小売チェーン店がある。顧客への感性商品の価値提案をIT経営が如何に支えたかについて学ぶ。2011中小企業IT経営力大賞(経済産業大臣賞受賞)事例。 (小売業事例)</p>	1日 (6時間)	—
	<p>b4. 新しいビジネスモデルで「稲盛経営者賞受賞」 ～驚異の再来率を達成したサービス業～ (クラウド事例)</p>	<p>稲盛和夫流フィロソフィー経営で新たなビジネスモデルを確立し、現在12期連続2ケタ成長中の成功事例を学びます。またSaaS型システム導入によるメリット等、お客様の生の声をお伝えいたします。 2010中小企業IT経営力大賞(経済産業大臣賞受賞)事例 (サービス業事例)</p>	1日 (6時間)	—
	<p>b5. 日本農業の現在地と等身大の農業ICT利活用の実像 ～全国22事例の取材記を通じて～ (ビジネスモデル改革事例)</p>	<p>農業現場で実際に役立っている等身大の農業ICTを、22の取材事例と導入支援事例を通じてリアルに学べます。農業と農業ICTの現状と課題、今後の展望について、俯瞰的に理解を深めます。 (農業ビジネス事例)</p>	1日 (6時間)	—

フォローアップ研修カリキュラム(3/3)

c. IT経営プロセス実務研修コース (特に、企業内ITC向け)		IT経営プロセスでの実務を深掘り、強化し、企業内ITCの実務能力に付加価値をつけるコース		
狙い	講座名	概要	時間	eL
<p>・企業で頼りにされるITCの付加価値は何か、具体的な事例を基に演習を行い、これまでの業務の取り組み方を見直し、実践力を身につける。</p> <p>・IT経営プロセスを深掘り、ITCコンテンツやレファレンスも活用しながら、効率的、効果的な業務の進め方を身につける。</p>	<p>c1. 経営戦略実現のためのIT投資マネジメント ～投資額効果の評価から目標達成の評価へ～</p>	<p>経営からみたIT投資の評価は、投資額の効果として算定される金額ではなく、戦略目標を達成できたかで評価することの重要性について学ぶ。(経営戦略、IT戦略策定フェーズ)</p>	<p>1日 (6時間)</p>	—
	<p>c2. 階層化アプローチによる業務システム設計 ～経営戦略を反映した業務システム改革と業務システム設計～</p>	<p>ITCAの「階層化アプローチによる業務システム設計」をベースに、経営戦略の実現のため、人・組織、業務プロセス、ITシステムの三位一体の業務システム改革と、実現のための設計を学ぶ。(経営戦略～IT導入フェーズ)</p>	<p>1日 (6時間)</p>	—
	<p>c3. 業務の見える化からシステム要件定義へ ～IT経営のための要件定義とRFP作成～</p>	<p>現場からの業務要求と、システム化に必要な要件の引き出し方と纏め方を学び、纏めた要件定義書からITCAのRFPモデルの使い方を演習する。(IT戦略策定～IT資源調達)</p>	<p>1日 (6時間)</p>	—
	<p>c4. 経営戦略実現のための最先端の幅広いプロジェクトマネジメント ～組織戦略立案から実施まで～</p>	<p>組織戦略立案から実践までのプロセスを組織のCIO/CEOにサポートするためのノウハウを学び、成功する・成果の出るプロジェクトを行える組織にするための演習を行う。(プロジェクトマネジメント)</p>	<p>1日 (6時間)</p>	—
	<p>c5. 経営から評価されるITサービスマネジメント ～経営視点からITサービスを考える～</p>	<p>経営者が評価するITサービスとはどういうものなのか？を、ITサービスマネジメントに関する事例を参考にしながら考えてもらい、グループ演習でITサービスの本質を学ぶ。(ITサービスマネジメント)</p>	<p>1日 (6時間)</p>	—
	<p>c6. 提案型営業のためのITC事例研究、知財&IT活用によるビジネスモデル変革 ～モノ売りからコト売りへ、ビジネスモデルキャンパスを使って検証する～</p>	<p>地方の農業資材販売企業が、経営危機をきっかけに、特許とITを利活用し、大胆なビジネスモデル変革を実践し成果をあげている事例を取り上げ、ITCとしてどのように課題解決を提案し支援したのか、「ビジネスモデルキャンパス」を使用し、変革成功のカギを検証する。(IT経営認識プロセス)</p>	<p>1日 (6時間)</p>	—